

コルリクワガタの産卵・孵化時期

足立義弘

1985年5月13日に扇ノ山小ヅッコ付近で採集したコルリクワガタ3♀♀を、ブナの朽ち木と共にタッパケースに入れておいたところ、朽ち木に多くの噛み傷がついていた。このため5月31日、この噛み傷の一つを開いてみると、1mmくらいの深さのところに、径1mmほどの卵が産み付けられていた。6月11日に再度調べてみると、先の卵の位置には何も見られなかったが、別の噛み傷から体長2mmほどの幼虫が現れた。その後朽ち木が乾燥してしまい、残念ながら経過を見ることはできなかった。

自然状態ではないが、コルリクワガタの産卵時期や、孵化の時期を知る参考になると思われるので報告しておく。

但馬産 *Strandella* 属 (サラゲモ科 *Linyphiidae*)

山本一幸

腹部に4つの黒斑を持つことで特徴的なヨツボシサラゲモ *Strandella quadrimaculata* には、近似する別種がいることが Saito(1982)によって明らかにされている。

筆者における今までの但馬産の本種の同定は、腹部の斑紋のみで決定しており、雌の生殖器や雄の触肢などの細部を観察するには至らなかった。昨年、手持ちの標本を再検討した結果、ヨツボシサラゲモは含まれず、近似する別種のヒメヨツボシサラゲモ *S. yaginumai* と、Korea より記載された *S. pargongensis* の2種が見い出された。

ここに2種の新たな記録を添えるとともに、本誌 No. 8・9(1985)「大岡山産のクモ」(pp.117-125)におけるヨツボシサラゲモを、ヒメヨツボシサラゲモに訂正してお詫びしたい。

なお、お忙しい中、*S. pargongensis* の同定の確認をしていただいた追手門学院大学教授・八木沼健夫博士に、厚くお礼申し上げます。

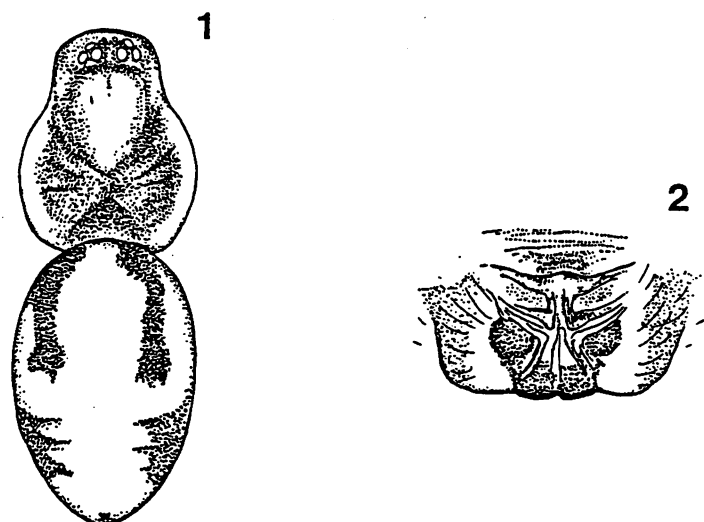


Fig.1-2. *Strandella pargongensis* (Paik,1965)♀: 1- dorsal view of carapace and abdomen, 2-epigynum.

Strandella pargongensis (Paik,1965)

♀ 1, 扇ノ山 (小ツッコ), 1089m alt., 1977- VIII- 1

S. yaginumai Saito,1982 ヒメヨツボシサラゲモ

♂ 1, 浜坂町久斗山, 120m alt., 1977- V-29

♂ 6, ♀ 1, 温泉町青下, 440m alt., 1978- V-21

♀ 1, 扇ノ山 (上山高原), 920m alt.,1980- VI-15

以上, 採集者はすべて筆者.

参考文献

Saito,H.,1982. Notes on Japanese Linyphiidae, I.

Acta arachnol..31:17-26.